

樋口紀美子 ピアノ・リサイタル

2019.6/8(土)

14:00開演(13:30開場)

浜離宮朝日ホール

地下鉄大江戸線「築地市場駅」A2出口前 朝日新聞社新館2F



Kimiko Higuchi

J.S.バッハ：パルティータ第1番 変ロ長調 BWV825

乾 春男：ノヴェレッテ(アンダンテ) [1948.7.11]

[生誕90年記念] ソナタ [1949.8.28]

ショパン：ノクターン第17番 ロ長調 op.62-1

ノクターン第18番 ホ長調 op.62-2

ソナタ第3番 ロ短調 op.58

全自由席

一般 ¥5,000(学生券 ¥3,000)

■チケット前売所 朝日ホールチケットセンター：03-3267-9990 e+(イープラス)：<http://eplus.jp>

CNプレイガイド：0570-08-9990

■後援：一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会(ピティナ)日本アルバン・ベルグ協会

■コンサートマネジメント：ミリオンコンサート協会 03-3501-5638

Piano Recital

樋口紀美子 (ピアニスト)

Kimiko Higuchi



6歳より母の手ほどきでピアノを始める。藤田晴子、田辺緑、岡部守弘、永井進、神西敦子、K.ヘルヴィッヒ、H.E.リーベンザーム、G.アゴ스티、H.C.ステファンスカ、W.ブランケンハイム、ディノラ・ヴァルジの各氏に師事。1974年渡独。エッセン国立音楽大学、ベルリン芸術大学、ザールブリュッケン国立音楽大学演奏家コース卒業。

1977年、イタリアのフィナーレ・リグレ国際ピアノコンクールにて3位入賞。以来、ドイツ、スイス、イタリア各地で数多くのリサイタルを行う。1980年スイスのルガノ国際ピアノコンクール「スケルツォ特別賞」。1981年より一時帰国しては東京にて15回のピアノリサイタルを開催。「音楽芸術」「音楽の友」「ムジカノヴァ」「ショパン」各誌で高い評価を得る。1985年東京交響楽団とラフマニノフの協奏曲第2番を共演。1993年10月にはマラー「大地の歌」ピアノ版を邦人ステージ初演し、「音楽の友」のコンサート・ベストテンにノミネートされるなど絶賛を博す。1988年よりベルリンのフィルハーモニー、カンマームジークザールを中心に9回のリサイタル(ハンス・アードラー主催)で成功を取め、ベルリン・ピ

ノ界の常連としての地位を確立した。1993年の演奏会はベルリン最大有力紙「デア・ターゲス・シュピーゲル」の批評欄で「微笑む理性」と絶賛された。1994年9月、イタリアのシチリア島におけるイブラ・グランプリ国際ピアノコンクールでプロフェッショナル・ピアニスト部門入賞。1997年リスト・プログラムでCDデビュー、好評を博す。

ピアノ教育者としては、ドイツ青少年コンクール、ベルリンとハンブルクのラインウェイン・ピアノコンクール、ケーテンのバッハ・ピアノコンクールなどで常に上位入賞者、オーケストラとの再度にわたる共演者を出すなど異例の成功を取め、高い評価と注目を集めている。

ベルリン教会音楽大学ピアノ科講師、ベルリン市立音楽学校ピアノ科および室内楽科講師などを歴任。ピティナ・ピアノコンペティション、ベルリン・ラインウェイン・ピアノコンクール審査員。2005年よりドイツ音楽芸術家連盟ベルリン正会員。2007年7月、33年のドイツ滞在を終えて帰国。2008年6月、浜離宮朝日ホールでの帰国記念リサイタルを機に、オーケストラとの共演、日本各地でコンクールの審査、講演、公開レッスン、演奏活動を活発に展開している。昭和音楽大学非常勤講師。

2012年帰国後初のCD「ドビュッシー 12のエチュード全曲」、2014年ショパンプログラムによる「ノアの思い出」、2017年「ショパン練習曲集作品10、夜想曲選」をリリース。「CDジャーナル」「レコード芸術」など各誌で絶賛を博す。

乾 春男 (作曲家) 1929~49 Haruo Inui

日本近代音楽史における伝説的存在である。20歳のクリスマス・イヴに多摩川に身投げして自死した。そして一般にはほとんど忘れられたが、代表作となった《ベルソナ》(1948)には、藤井一興と入川舜による2種類のCDまで存在する。東京音楽学校作曲家に在学していたとはいえ、すでにほとんど独学で作曲することができた乾の作品には、まごうかたなき独自の美の世界が確立されている。その年の11月1日、日本現代音楽協会の第1回現代音楽試演会で演奏されたデビュー作《ピアノ・ソナタ》は、「現代音楽を生まれながらに知る天才」と絶賛されたという。

樋口紀美子は乾の姪にあたり、生誕90年を記念してこの日のプログラムに加えた。

mofoline

好評発売中

樋口紀美子 — ピアノ

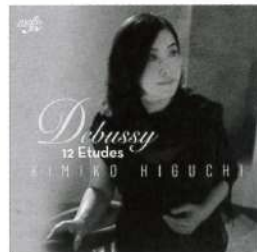


録音: 2018年5月24日、25日 所沢市民文化センター ミュース アークホール
MF25704 定価¥2,800+税

ドビュッシー没後100年記念

樋口紀美子
脇岡洋平 (ピアノ)

2台ピアノのための
3つのオーケストラ作品
「牧神の午後への前奏曲」
「夜想曲」「海」



ドビュッシー
12のエチュード
ショパンの思い出のために

録音: 2012年3月12日、13日
浜離宮朝日ホール (東京)
MF25701 定価¥2,800 (税込)



ショパン~
「ノアの思い出」

ピアノ・ソナタ 第3番 短調 作品58
ノクターン第15番 短調 作品55作品の1
スケルツォ第4番 小長調 作品54
子守歌 変ニ長調 作品57
3つのマズルカ 作品59
録音: 2014年3月25日、26日 浜離宮朝日ホール (東京)
MF25702 定価¥2,800+税



ショパン
エチュード作品10
ノクターン選

エチュード 第1番~第12番
夜想曲 第4番/第5番/第6番/
第16番/第20番
録音: 2016年4月11-13日、12月9日
川口リリア「音楽ホール」(埼玉)
MF25703 定価¥2,800+税

KIMIKO HIGUCHI

録音・制作: N&F Co., Ltd. Tokyo 販売元: ユニバーサルミュージック合同会社 IMS